

第七章

国語審議会

一九六一年(昭和三六)
富三博士は文部省より
第六期の国語審議会の
委員に任命されました

任命期間は
二年です

少年の頃 府立第一
中学校を受験して

方言のため
口頭試問で
落とされました

そのことが
あってか
富三博士は
言葉を大切に
しました

忙しい仕事の
あい間に
取り寄せた資料を読み
日本語のあり方を
考えていました